

1. AM/FM受信機の仕様

(1)AM受信機仕様

入力信号周波数	72.9144MHz ±1.7MHz (AM放送波帯域振幅変調波)
受信入力レベル	+60dB μ V ~ +80dB μ V
周波数選択特性	60MHz以下、80MHz以上の周波数は40dB以上減衰
復調AM放送波帯域	522KHz~1629KHz
復調AM放送波受信設定間隔	1KHzステップ
復調AM放送波隣接干渉特性	AM放送1波 +50dB μ V時 30KHz離れ信号のレベル差33dB以上
音声周波数特性	300Hz~15KHz (-3dB帯域)
音声信号対雑音特性	AM放送1波の信号レベル +73dB μ VにてS/N 50dB以上

(2)FM受信機仕様

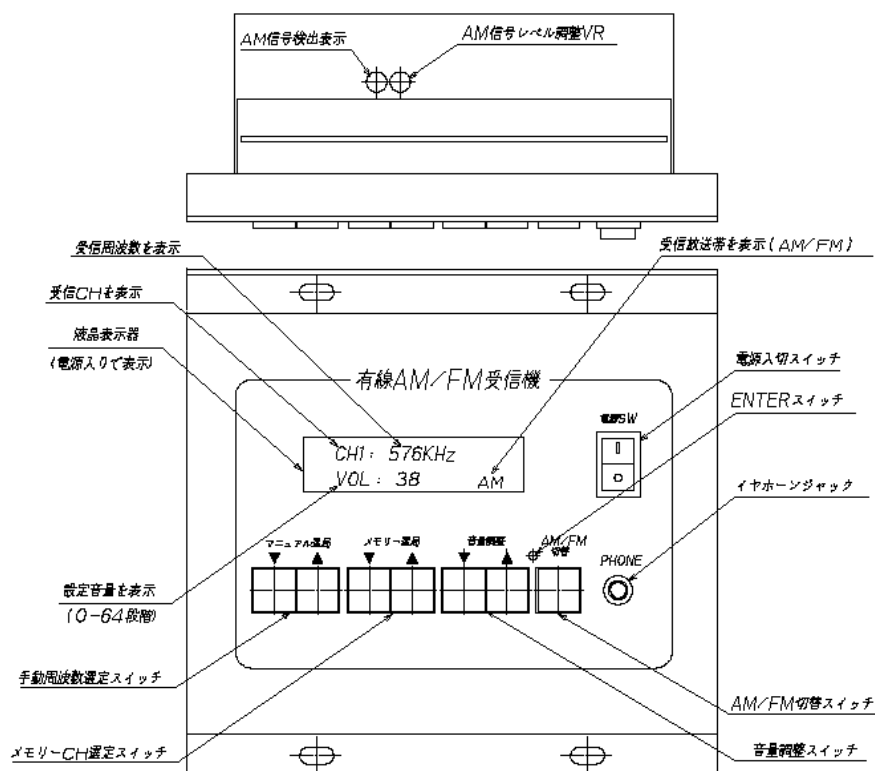
受信周波数	76MHz~90MHz 周波数設定間隔 100KHz
受信入力範囲	+30dB μ V ~ +60dB μ V (S/N 55dB以上)
隣接干渉特性	+40dB μ V入力時 200KHz離れ信号のレベル差45dB以上
復調周波数特性	30Hz~15KHz (-3dB帯域)
ステレオ分離度	25dB 以上 (入力+30dB μ V以上)
LRアンバランス	1dB以下
AM信号抑圧度	40dB以上 (+30dB μ V以上)

(3)共通仕様

消費電力	5W以下(AC100V)
メモリーチャンネル数	AM/FM毎に10チャンネル
音声出力歪	50mW以上 歪率10% 32 Ω 負荷時
音量調整	64段階 (30dB可変)
動作環境	屋内設置 -10°C~+40°C (結露しないこと)
外部接続方法	AC100V 平衡ビニールコード 平型プラグ付 AM/FM信号入力(共通) 3C-2V先端Fコネクタ
外形寸法	外観図による

2. パネル面操作

(1)操作パネル図



(2) AM放送信号レベルの調整

本体上面のAM信号レベル調整用VRにて、AM信号検出表示LEDが点灯を開始する位置に設定します。消灯時は無信号もしくはレベルが低い状態です、設置工事時に設定確認してください。

(3) 周波数の設定

マニュアル選局の場合 ⇒ マニュアル選局SW▲で周波数が上がり ▼でDOWNで周波数が下がる
長押しで連続可変します
AM放送は1KHzステップ、FM放送は100KHzステップ

メモリー選局 ⇒ あらかじめ設定してあるチャネルを選局 ▲で上がり ▼で下がる

(4) 音量調整

音量調整SW▲を押す毎に段階的に大きくなり▼で小さくなります（0～64段階、0で無音）
長押しで連続変化します。

(5) 電源入り切り

電源SW ○側が切り、I側が入りの位置

(6) イヤホンジャック

ステレオイヤホンジャックの挿入口（確実に差し込んでください）

(7) 液晶表示

現在設定の周波数、AMもしくはFMの選択表示、音量表示

3. メモリチャンネル設定の方法

(1) 「ENTER」を押しながら電源SWを入側に操作

液晶表示に「CH Set MODE」が表示されたら、チャンネル設定が可能になります。

(2) メモリ選局「▲」、「▼」で設定したいチャンネルを選択します。

設定できるメモリ数は、1～10チャンネルまでです。

* すでに設定されているチャンネルを選択した場合は上書きされ、以前の設定は消去されます。

* 設定チャンネルは1番から順に設定してください、途中を空けての設定はできません。

(3) マニュアル選局「▲」、「▼」で周波数を設定します。

1度押せば、FMは100kHz単位、AMは1KHz単位で進みます。

長押しすると早送りされます。

(4) チャンネル設定の確定

「ENTER」を押すと、「Ent:F_U Del:F_D」の表示が出ます。

・マニュアル選局「▲」を押すと確定し、設定したCHに記憶されます。

・マニュアル選局「▼」を押すとCH設定を削除し、記憶されます

* CH削除を実行すると、削除したCH番号以降に設定されているメモリーチャンネルも同時に消去されますので必要な場合は再設定してください

(5) チャンネル設定の終了。

一旦電源SWを切ります、これで設定作業が完了です。

4. 通常動作

(1) 電源を投入します。

電源を切る直前の設定にて動作を開始します。

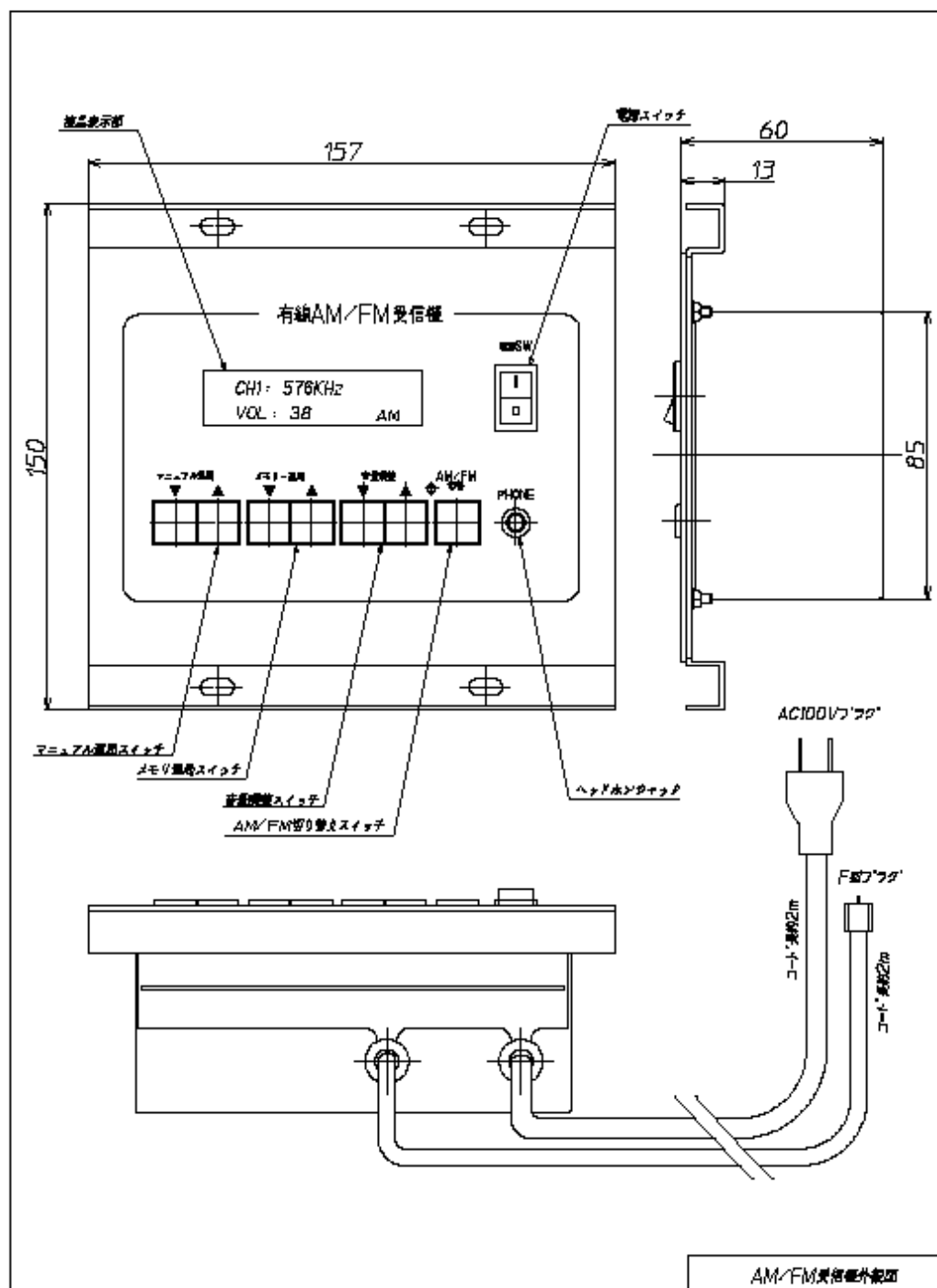
(2) チャンネル、音量を任意に設定します

・周波数設定にて周波数を選択できます。。

・ENTER-SWは操作できません。

※選択可能なチャンネルは、「CH SET MODE」で削除したCHの一つ前までになります。

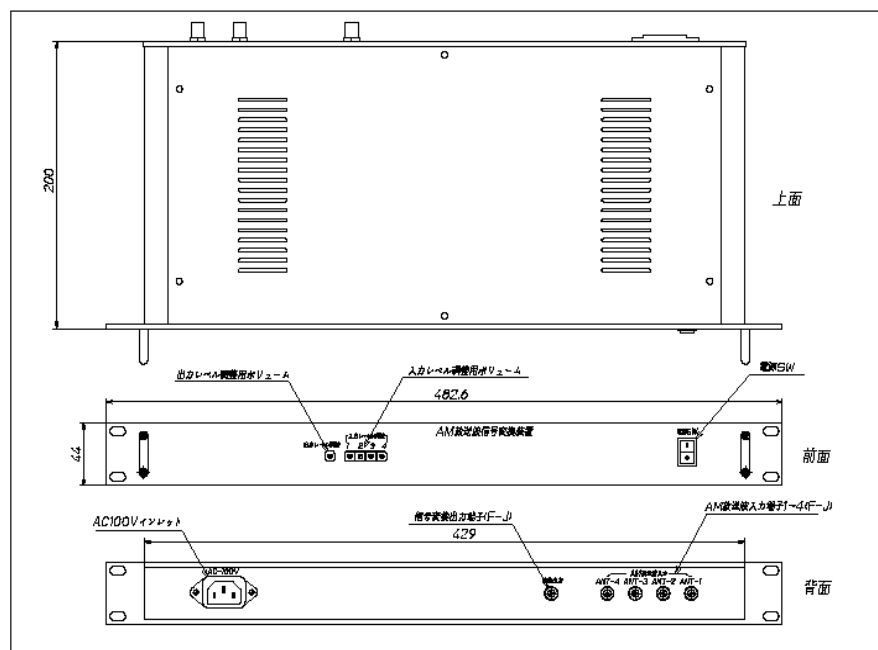
4. 外観図



1. AM放送波信号変換装置の仕様

受信周波数帯域	530KHz～1650KHz
受信入力範囲	+50dB μ V～+80dB μ V
相互変調歪特性	+57dB μ V/1波を 4波入力時 -50dBc以上
変換出力周波数帯域	73MHz帯
出力レベル	+50dB μ V～+80dB μ V
消費電力	10W以下(AC100V)
入出力端子	F型同軸ジャック
電源端子	3P-ACインレット
動作環境	屋内設置 -10℃～+40℃（結露しないこと）
外形寸法	別紙

2. 外形図



3. 操作、外部接続方法

(1) 放送波入力

AM放送波入力端子は背面に4系統あり、どの端子に入力しても内部で合成されます。各放送局からの入力電界が強い場合は1個のアンテナ出力をいずれかの端子に接続します。各放送局からの入力電界の差が大きい場合は複数のアンテナを使って受信し各端子に接続します。

(2) 放送波入力レベルの調整

背面の入力端子1～4に対応した、前面にある入力調整用ボリュームで調整します。

(3) 信号変換出力

73MHz帯に変換された放送波信号は背面の出力コネクタに出力されます。

(4) 信号変換出力レベル調整

73MHzの変換出力は前面の出力レベル調整用ボリュームで調整します。

(5) 電源

電源はAC100Vを背面の3Pインレットから供給します。